発行日：2024 年 5 月 17 日

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
ルネサス エレクトロニクス株式会社
問合せ窓口 https://www.renesas.com/jp/ja/support/contact/

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RA*-A0112A/J	Rev.	第1版
題名	サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理項削除		情報分類	技術情報	
適用製品	RA2L1 グループ RA2E1 グループ RA2E3 グループ RA2A2 グループ RA0E1 グループ	対象ロット等 全て	関連資料	RA2L1 グループユーザーズマニュアル ハードウエア編 Rev.1.40 (R01UH0853JJ0140) RA2E1 グループユーザーズマニュアル ハードウエア編 Rev.1.40 (R01UH0852JJ0140) RA2E3 グループユーザーズマニュアル ハードウエア編 Rev.1.10 (R01UH0992JJ0110) RA2A2 グループユーザーズマニュアル ハードウエア編 Rev.1.10 (R01UH1005JJ0110) RA0E1 グループユーザーズマニュアル ハードウエア編 Rev.1.00 (R01UH1040JJ0100)		

ユーザーズマニュアルに記載されている「サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理」項及び図を削除いたします。

[RA2L1、RA2E1、RA2E3 の訂正前]

8.4.2 サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理

サブクロック発振器を使用しない場合、図 8.10 に示すように、XCIN 端子は抵抗を介して VSS に接続（プルダウン）し、XCOUT 端子をオープンとしてください。さらに、サブクロック発振器停止ビット (SOSCCR.SOSTP) を 1 にして発振器を停止してください。

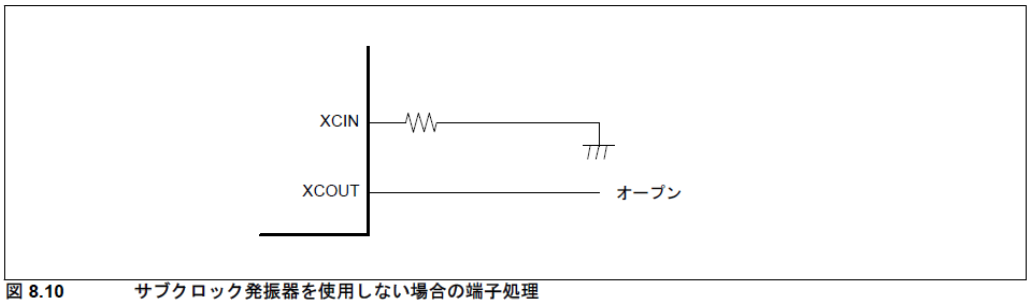


図 8.10 サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理

[RA2A2 の訂正前]

9.4.2 サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理

サブクロック発振器を使用しない場合、図 9.10 に示すように、XCIN 端子は抵抗を介して VSS に接続（プルダウン）し、XCOUT 端子をオープンとしてください。さらに、サブクロック発振器停止ビット (SOSCCR.SOSTP) を 1 にして発振器を停止してください。

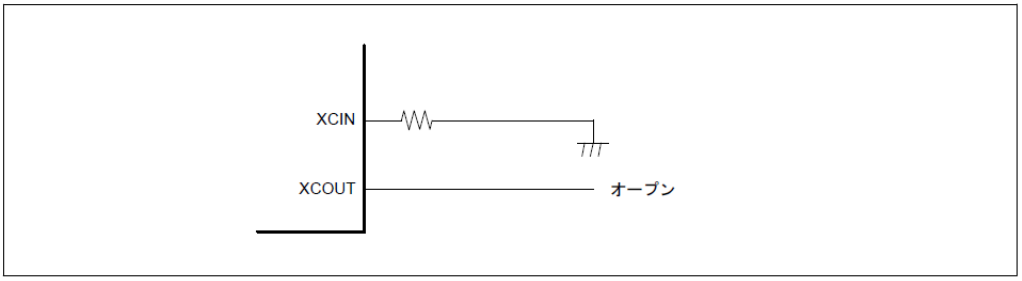


図 9.10 サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理

(c) 2024. Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

[RA0E1 の訂正前]

8.4.2　サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理

サブクロック発振器を使用しない場合、図 8.9 に示すように、XCIN 端子は抵抗を介して VSS に接続（プルダウン）し、XCOUT 端子をオープンとしてください。さらに、発振器が接続されていない場合、サブクロック発振器切り替えビット (CMC.SOSEL) を発振子モードに設定し、サブクロック発振器停止ビット (SOSCCR.SOSTP) を 1 にして発振器を停止してください。

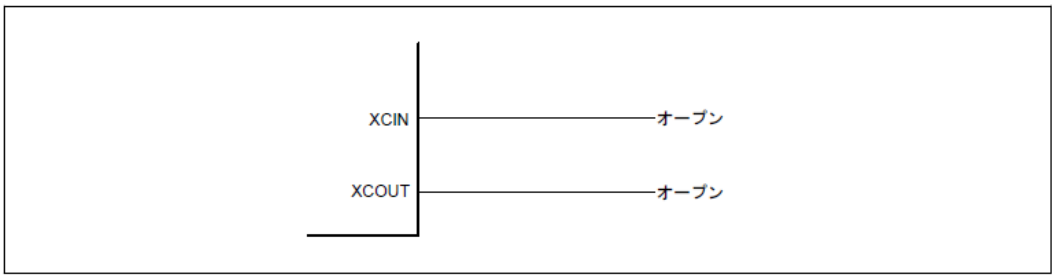


図 8.9　サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理

[RA2L1、RA2E1、RA2E3、RA2A2、RA0E1 の訂正後]

対象となる項番、図を削除する。

各製品グループのユーザーズマニュアルにおいて、削除対象となる項番、図を以下の表に示します。

製品グループ	項番、図	項タイトル
RA2L1	8.4.2、図 8.10	サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理
RA2E1	8.4.2、図 8.10	サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理
RA2E3	8.4.2、図 8.10	サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理
RA2A2	9.4.2、図 9.10	サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理
RA0E1	8.4.2、図 8.9	サブクロック発振器を使用しない場合の端子処理